

堤防護岸劣化調査(H21)

位置図及び調査状況



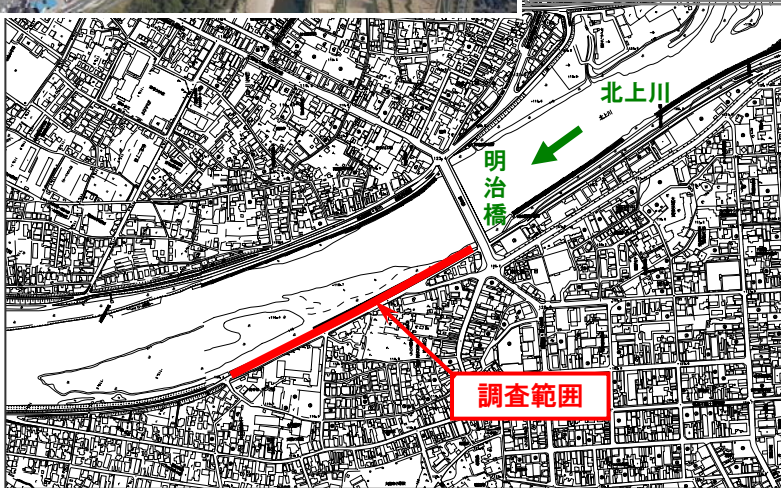
【調査の目的】

護岸エコンクリートの劣化・クラック等の対策として、**詳細調査の必要箇所・調査項目の提案(目視調査)**

【今後の調査(詳細調査)に対する提案】

- 1) コンクリートの機能回復が期待できない劣化・損傷の程度とその範囲の把握⇒**コンクリートの品質に関する調査**
- 2) ズレ・不同沈下が発生した要因の推定とその対策の検討⇒**特殊堤の健全度に関する調査**

圧縮強度試験(※)、中性化深さ(※)、鋼材腐食の有無などを提案
※印は東北技術事務所にて試験を実施した



現地状況 (劣化・損傷)



凍害によるスケーリング

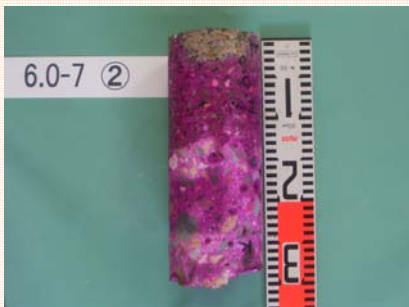


せん断クラック



格子張のズレ

東北技術事務所に対応可能な試験



中性化試験(実施)



圧縮強度試験(実施)



テストハンマーによる強度推定